

環境に 優しい サイクル

自社内で完結
環境配慮のエコサイクル

ご留意事項

- 機種選定に際しては、当社もしくは、取扱い代理店へお申し付けください。
- 本装置は生ごみ処理機ですので、投入物は生ごみのみとなります。
- 金属などの固いもの、雑誌、単独の液状物、多量の油などは投入しないでください。
- 屋外設置の場合は、ひさしのあるところで使用し、アースをしてください。
- サービス・保守は当社もしくは、当社指定のサービス会社にて実施します。
- 最良の状態にてお使いいただくため、保守点検契約終了をお奨めします。
- 製品の外観、仕様などは、改良による品質向上のため予告なく変更する場合があります。

このカタログは2024年12月現在のものです

このカタログの内容についてのお問い合わせ



ヤマトヨ産業株式会社
〒578-0921 大阪府東大阪市水走3-3-10
【環境事業部】 Tel. 072-967-1581 Fax. 072-967-1561

ISO14001:2015認証



WEBサイトはこちら
<https://www.yamatoyo-san.co.jp>



製品について
詳しい情報はこちら



業務用生ごみ処理機 **バクバク**

用途に応じた2Wayをご用意



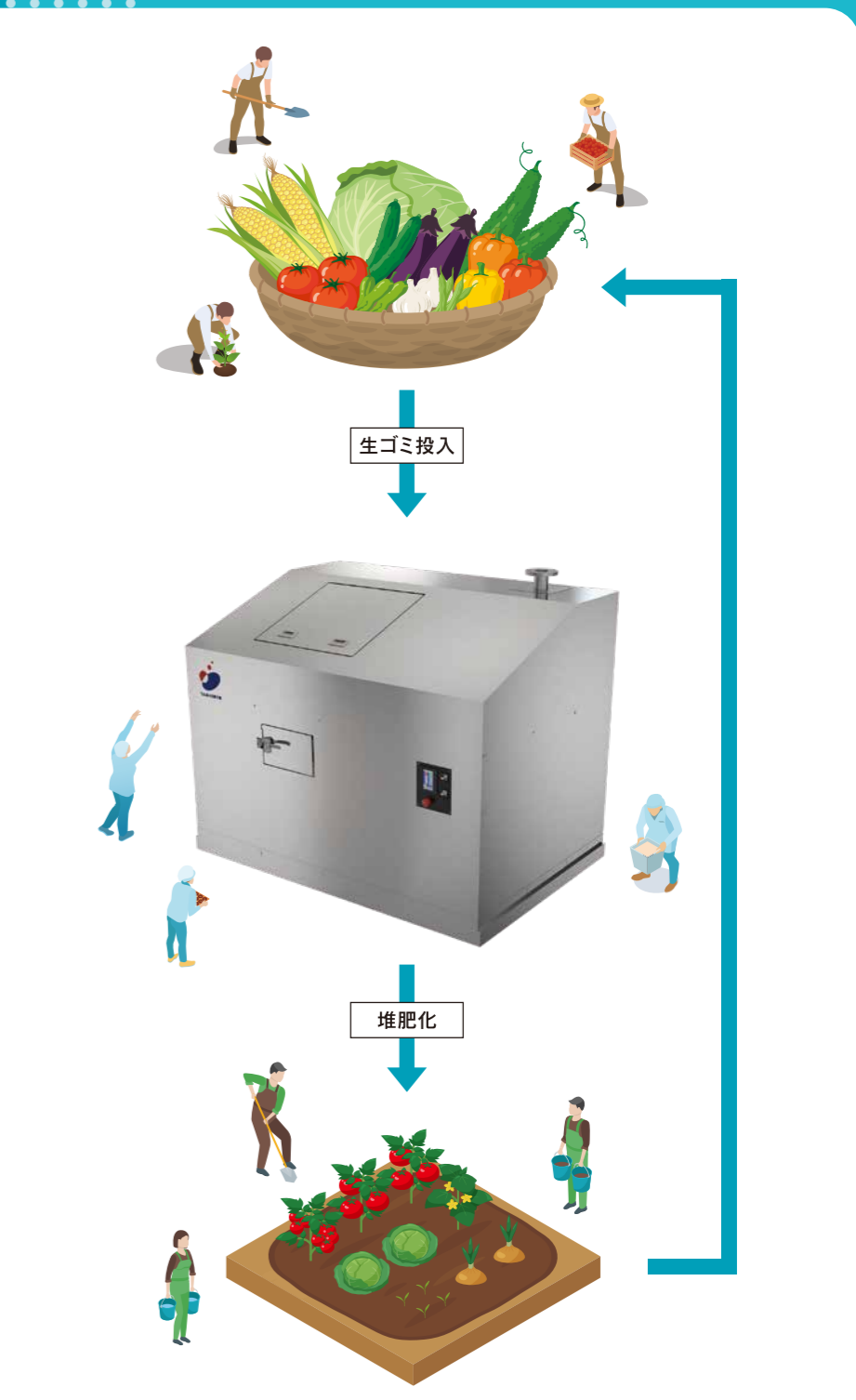
BIOWASTE CYCLE

生ごみから
地球にやさしい未来へ



出来ることから、 環境に優しい取り組みを

限られた資源を使い生きている私達。地球のためにできることはなんだろう。そう考えた時、「出来るだけ排出するごみを減らす」「ごみを再利用することで資源とする」という答えが思い浮かびます。しかし、企業単位でそれらを実行しようとする、どうしたら良いか分からず、困ってしまうことも多いと思います。そのような場合には、生ごみ処理機を導入することで、簡単に生ごみの排出量削減や再利用することができるようになるため、環境に優しい取り組みを行うことが可能になります。



生ごみ処理機の役割

生ごみ処理機は、微生物の分解作用と必要最低限の熱・風を利用して生ごみを効率よく堆肥化する機械です。微生物が発生させる熱も活用することで、消費エネルギーを抑えながら処理を行います。生成された堆肥は土壌改良剤として再利用でき、資源循環とごみ削減に貢献します。これにより、SDGs目標7「エネルギー効率の改善」と目標12「廃棄物の削減」に寄与します。



堆肥型生ごみ処理機



堆肥型

生ごみ処理機

パクパク PAシリーズ



業務用生ごみ処理機

堆肥型パクパク -ラインナップ-

最大処理量 (1日あたり)	50kg 処理	100kg 処理
型式	PA-50-DA	PA-100-DA
定格 消費電力	4.3kW	5.4kW
電源	AC200V 3相	
外形寸法 (W×D×H)	1500×1040×1050mm	1950×1340×1650mm
運転時重量	750kg	1300kg

※ラインナップに無い処理量についてはお問合せください。

入れた生ごみが24時間で堆肥化されます。
一槽式は週に1日以上ごみを投入しないが必要です。
毎日運転する必要がある事業所様向けに
二槽式もご用意しております。



消滅型

生ごみ処理機

パクパク PA-Sシリーズ



業務用生ごみ処理機

消滅型パクパク -ラインナップ-

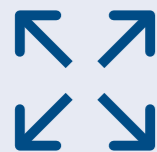
最大処理量 (1日あたり)	65kg 処理	125kg 処理	170kg 処理	225kg 処理
型式	PA-S-65	PA-S-125	PA-S-170	PA-S-225
定格 消費電力	1.2kW	2.75kW	3.5kW	4.5kW
電源	AC200V 3相			
外形寸法 (W×D×H)	1050×1150 ×1450mm	1450×1200 ×1450mm	1800×1150 ×1445mm	1800×1400 ×1845mm
運転時重量	800kg	1400kg	2200kg	3200kg

※ラインナップに無い処理量についてはお問合せください。

投入された生ごみは、
微生物の力で水と炭酸ガス等に分解され、減量します。
強制的に槽内の空気を排気する必要がないので、
臭いが漏れにくいです。
また、分解された処理品は排水として処理されるので、
処理品の取出し作業を行う必要がありません。



当社製品の特徴 堆肥型・消滅型



余裕のある設計

処理量に対して余裕のある作りをしています

投入したものが溢れないように記載の処理対象物を容量いっぱいまで一気に入れても耐えられる設計をしています。

※最大処理能力での連続運転はできません。普段は最大処理能力の約7割を目安に投入してください。



作業は簡単!

フタを開けて
ごみを投入するだけ

堆肥型の場合は処理後の堆肥の取り出し
が必要です。



CO2
排出削減!

生ごみは焼却されずに処理されるので、
結果CO2排出は削減されます。



処理能力に
合わせ
サイズも色々!

処理能力や事業所のスペースに応じて
様々なサイズで設計することが可能です。

処理出来るもの

堆肥型・消滅型



基本的に人が食べるものは
概ね処理が可能です。

野菜類・果物類・肉類・
魚類・パン類・その他残飯類など

処理出来ないもの

堆肥型・消滅型



※処理の可否についての詳細は担当者にお尋ねください。

注意事項

煙草、薬品、大量の油、大型の骨、貝殻などの
投入はお控えください。

機械の破損、微生物の死滅、処理の不安定、
ろ材の消耗、目詰まりなどの原因となります。

堆肥型 生ごみ処理機

発酵時間を短縮化するために、加熱により発酵微生物(好気性高温菌)の活性を促し、一日で高速発酵させます。実績も豊富な方式です。

投入扉 ごみ箱感覚の簡単操作

ある程度のビニールや箸などの混入であれば、そのまま投入しても大丈夫。処理完了後は生ごみがサラサラとした処理品となっているので容易に分別できます。



投入直後の様子

生ごみ処理機に生ごみを投入した直後の様子です。あらかじめ水分調整材が入っている槽に生ごみを投入します。提拌羽により、効率良く混合され、水分率を調整、空気を送り込みます。

排気

触媒燃焼式脱臭装置
臭気を燃焼させて脱臭する高効率な脱臭装置です。

タッチパネル

操作が簡単、状況も確認可能！

処理機の操作はすべてタッチパネルで行います。(槽内の状況も確認が可能です。)

非常停止ボタン

緊急時にも安心

槽内へ物が落下した際などの緊急時のみご使用ください。処理機が緊急停止します。

メンテナンス

週に1回、排気フィルターの清掃が必要です。

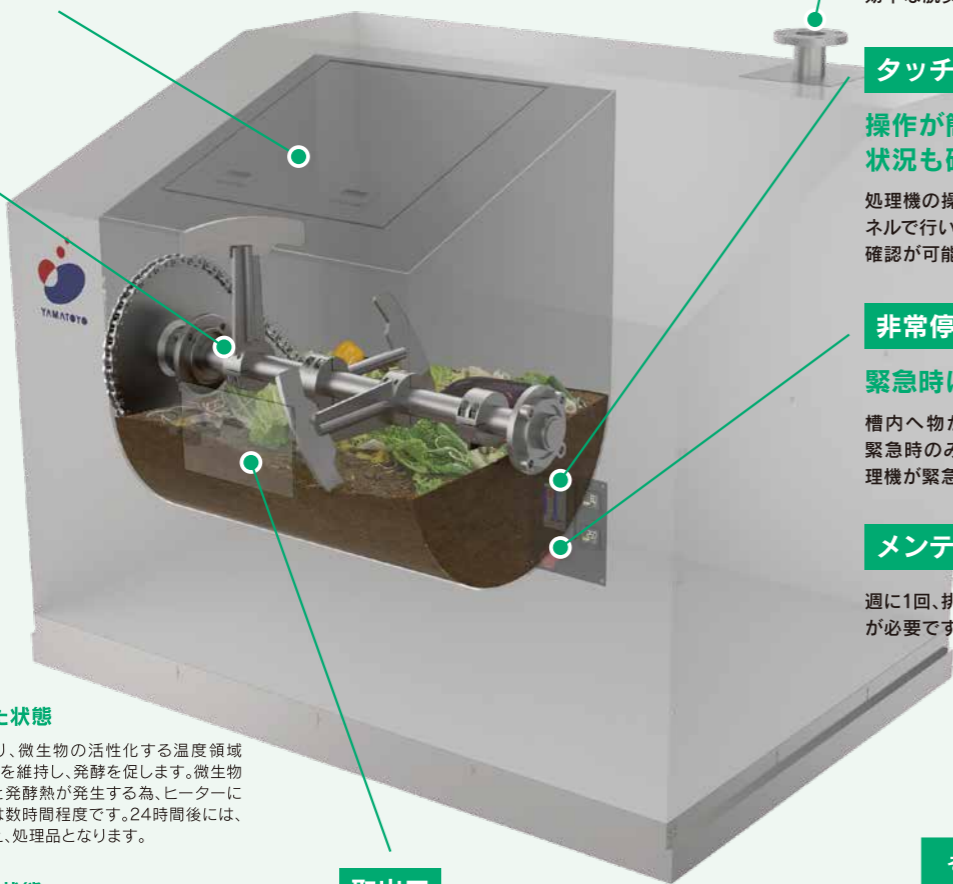
処理槽

菌・水分調整材追加投入不要

定期的に菌やモミガラなどの水分調整材を補充する必要がありません。

生ごみを減量化し無害化

投入した生ごみが5分の1程度に減量され、処理物はサラサラでもありません。高温(槽内温度を55~60℃)で有害微生物・病原菌を不活性化するので安心です。



1日経過した状態

ヒーターにより、微生物の活性化する温度領域(50℃~60℃)を維持し、発酵を促します。微生物が活性化すると発酵熱が発生する為、ヒーターによる加熱時間は数時間程度です。24時間後には、発酵分解を終え、処理品となります。



処理品排出状態

処理品を排出する際に30~40%程度の処理品を槽内に残します。残した処理品は、次回発酵の際の種菌となり、追加の資材や菌の投入は不要となります。

取出口から堆肥を取り出した際、自然と槽内の処理品が30~40%残るように設計してあるため、取り出す量の計算は必要ありません。

取出口

簡単取りだし。自動排出機構
ボタン一つで自動的に減量した処理品が排出され、取り出し作業が簡単です。

処理品を簡単に再利用
処理品は土壌改良材として使用できます。

その他詳細情報はWEBサイトにて



消滅型 生ごみ処理機

微生物の力を活用し、生ごみを水と炭酸ガスに分解する次世代型の生ごみ処理機です。ごみを減らすだけでなく、環境への負荷を大幅に軽減し、手間のかからない快適なごみ処理を実現します。

投入扉

ごみ箱感覚の簡単操作

扉を開けて生ごみを投入し、扉を閉めると自動で処理が開始されます。
※分解できないビニールや箸、金属などは投入厳禁です。

タッチパネル

操作が簡単、状況も確認可能！

処理機の操作はすべてタッチパネルで行います。(槽内の状況も確認が可能です。)

処理槽

生ごみが水と炭酸ガスへ変身

濾材には耐摩耗性・耐久性に優れた、硬質体のセラミックボールを採用しており、投入した生ごみを簡単にすり潰します。また、数種類の微生物の働きにより、生ごみの分解が促進されます。セラミックボールは多孔質なため、微生物を定着させる役割も担っています。消滅型は外部へ強制的に排気する必要が無いので、槽内の臭いが漏れにくいです。

メンテナンス

週1回のメンテナンス時に槽内を確認！

週に1回、点検口を開け、槽内の水が正常に排水されているか確認してください。

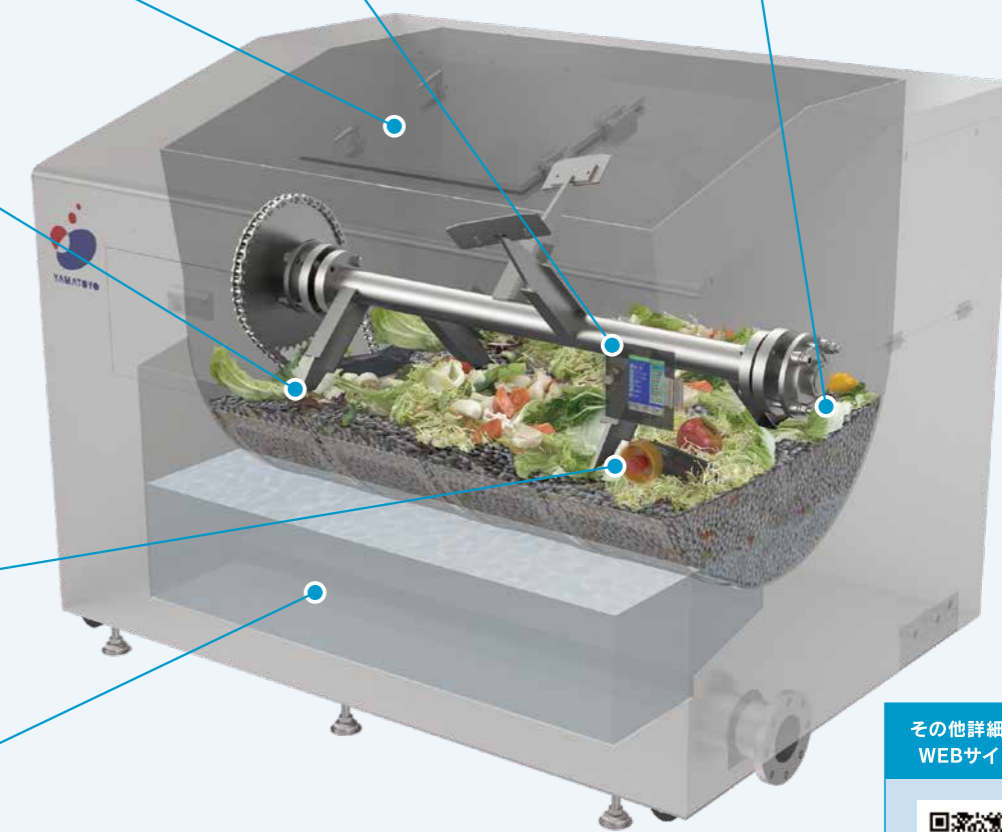
非常停止ボタン

緊急時にも安心

槽内へ物が落下した際などの緊急時のみご使用ください。処理機が緊急停止します。

排水槽

処理槽で分解された生ごみは、排水槽へ流れ、機外に排出されます。



その他詳細情報はWEBサイトにて



堆肥ができるまで



01 床材の入った槽内に生ごみを投入します。



02 生ごみは槽内で攪拌され、床材に含まれる数種類の微生物の働きにより生ごみを分解します。



03 約24時間程で生ごみは分解され、堆肥となります。



04 取り出された堆肥は、土壌改良材としてご使用いただけます。(処理品は一次発酵品です。追加発酵させてからご使用ください。)

生ごみ処理機の様子



01 濾材の入った槽内に生ごみを投入します。また、週に1回、一緒に微生物資材も投入します。



02 生ごみは槽内で攪拌され、濾材に含まれる数種類の微生物の働きにより生ごみを分解します。



03 約24時間程で生ごみは水と炭酸ガスに分解され、排水されます。